



RKM会報

第25回ホームカミングデイ

まだ残暑厳しい平成16年9月11日（土）、同窓会主催のホームカミングデイが開催された。

我がRKMは、前半（14時～）は高中体育館にてゲームに興じたあと、後半（16時半～）は3月に完成したばかりの高中集会所にて他部OBとの懇親会に参加した。

生憎当日は中学1・2年生の試合があり、またOB参加者も少なかったため、中3～高2年主体の現役とロートルOBとの交流試合となったが、ケガ人も無く楽しい時間を過ごすことが出来た。

締めくくりに、OB・現役に分かれてのフリースロー大会を実施した。超OBといえども往年のシュート力には衰えがみえず、白熱した戦いの結果、吉永先輩（44）が見事優勝を勝ち取った。

また、昭和32年インターハイ優勝時の賞状を吉沢先輩（32）が大事に保管されており、現役共々RKMの歴史の長さ后感銘した。

OB参加者（敬称略、カッコ内は卒業期）：

瀬古（22）、大澤（29）、川浪（29）、印南（32）、佐室（32）、清水（32）、三矢（32）、吉沢（32）、梅田（32）、吉永（44）、渋谷（48）、時任（53）、桑水流（47）



●現役情報

現・高3

◎インターハイ予選

2回戦 5月23日 @都立小金井北
武蔵 70-93 東海大高輪台

■OB観戦記……対東海大高輪台

結果的に、高校3年にとっての引退試合となったゲームである。

相手は東海大高輪台高校、そこそこの実績のある学校と聞いた。連続して現役の試合および練習を見ていないのだが

○相手に負けないスピードで攻めることができていた。バランスも崩れることが少なく、しっかり走り込んだ練習を積んだ結果だと感じた。

○前半、相手がペースをつかみきれず戸惑っていたようだ。全体に身体能力が劣ることが多い武蔵としては良い展開であった。早々のファウルを重ねた敵のガードを早い時期に4ファウル目を取らせれば展開が違ったかもしれない。

以前、少し感じた線の細さがなくなってきた、武蔵らしい試合運びもあったのでこれからが楽しみである。

引退する3年生へ。バスケットをすること6年間を通じてのいろいろな経験は今後必ず生きてきます。次の目標にむけて頑張ってください。



▲観戦：瀬古会長、畑 正木



▲トスアップ（武蔵：緑）

現・高2

◎新人戦本大会支部予選

1回戦 10月24日 @都立久留米
武蔵 94-78 駿台学園
2回戦 10月31日 @都立大泉
武蔵 75-105 成立学園

■OB観戦記……対成立学園



▲武蔵：白 成立：青

3年の引退後、新メンバーによるチームの公式戦2回戦である。

結果はごらんの通りだが、

2年生のプレーに力強さが出てきた点が印象に残った。これは日常の練習の結果であろう。

強さや速さという点においては、それ以上のチームはまだ多いと思われるが武蔵としてこのレベルであれば実力以上の相手に対しチームプレーで対等に戦えるようになれると感じた。

ゾーンディフェンスがある程度効果を出していたようで「相手に点を与えない」ディフェンスができていた。

結果として30点差のゲームであったが、これはプレスディフェンスがある程度聞いていた時のポッカリ穴が開いてしまった結果でありこれは練習で充分補える。体が流れたままの不正確・不用意なパスの結果もまた練習で十分に克服できる程度である。

この試合でこうすればよかった、こんなことができなければという思いがプレーヤーばかりでなくゲームを見ていたメンバーも感じていたはずである。

全ては、この結果から各自が何を学びとり、今後の練習で何とかしようと決心し、実践するにかかっていることであり、それにより如何に練習が楽しく達成感をもつ場になっていくというきっかけが今後に出来上がれば良いことである。

負けたゲームの方が多くを学びとれる。